



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

生徒のおかげで

保健体育科 徳重貴久

平成二十一年三月、四月からの勤務校が鶴丸高校と決まった時の衝撃は忘れられませんが、それは、残りの教員生活が十一年になつた私には、教員を目指した大きな要因のひとつでもあつた野球部の指導という点での衝撃でした。狭い校庭をいくつもの部で共用し、県内屈指の進学校であるが故に練習時間も短く、おまけにテスト休みも多...

これまでの高校野球監督人生を振り返ってみると、鶴丸に来るまでの十八年間で県大会や県選抜のNHK旗大会においては一回も出たことがありませんでした。ところが、鶴丸に来て八年、これまでにベスト8に四回進出。NHK旗大会に四回、県一年生大会に一回出場することが出来ました。

このことは、他の部活動生や一般生にも言えると思います。部活動生の中には納得いく結果じゃないという生徒もいるかもしれませんが、鶴丸の練習環境・練習時間を考えるととてもよく頑張っていると思えます。それが顕著に現れるのは体育祭です。

10月の行事予定

Table with 4 columns: Date, Event, Classroom, and Status. Includes events like '後期始業式', '文化祭準備', '文化祭', '体育の日', '学力考査', '立会演説会', '避難訓練', '全校朝会', '三年生を激励する会', '1・2年進研記述', '2年進研記述', '学年朝会'.



写真は、今年度の体育祭の一場面。生徒会執行部、各役員を務めた部活動生、そして生徒全員でつくりあげました。

競技はもちろんのこと、特に大きな成果を出してくれるのが、一・二年合同のマスゲームです。練習当初における組み体操の完成度の低さといったら、一年男子は特にひどいものです。しかし、短期間で集中して練習し、中には体育の授業以外でも朝早く来て練習したりして、少しでも良いものを作り上げようとする生徒もいます。そのひたむきな姿勢に感心させられます。その結果、完璧な演技ではないかもしれませんが、毎年すばらしい内容に仕上げられてくれています。また、十月初旬にある文化祭も同様で、クラスや文化系の部活動を中心に、毎年内容の濃いものが出来ていると感じます。

仮面ライダー

進路指導課主任 平山拓磨

私が幼い頃TVに登場した「仮面ライダー」は、いわゆる「ヒーロー」であった。悪の組織と戦う「仮面ライダー」は改造人間で、いわゆる組織の裏切り者として描かれていた。平成の時代に新たに「仮面ライダー」シリーズが始まった。最初は「仮面ライダークウガ」だったと思うが、いい大人になつていく私も、子供が好きだという理由を免罪符として、一緒に見ていた。以前のシリーズと違うのは、仮面ライダーそのものが、根本的に人間であったという点である。そこには警察組織の存在が描かれて、いわゆる「日常の人々の生活」を暴力的に脅かす存在としての集団「悪(アンノウン・ワールド)」と認定すること...

生徒の諸君は、学習や生活一般の事細かく先生方に注意されたり叱責されたりと不満を多く持っている生徒もいると思いますが、あなた方にはそれだけの力がありますし、必ずその要求に応えられるものを持つています。粘り強くあきらめずに頑張ってください。その姿を数多く見てきた今だからこそ、私は「鶴丸高校で頑張っていたい！感動を一緒に味わいたい！」と思つていきます。若いから当然失敗したり、思うような結果が得られなかったりしますが、皆さんが頑張ることで、我々指導する側もやる気も高まったり、自分を奮い立たせたりすることが数多くあります。

行爲に対して、戦う力を有した「仮面ライダー」が敢然と立ち向かうのである。宗教の違いや、思想の違いが平和な町の隣人を突如として暴力的存在に変えてしまふ現代社会においては、必ずしも「架空の子供向け番組」ではないのである。大人の私が魅入られた要素の一つが、暴力的行爲を淘汰するために暴力的であることに撞着した主人公の悩む姿と、「正義」とは何かに苦悩し、自己の存在を肯定できずに葛藤する主人公の姿が描かれていたことである。そんな仮面ライダーも、昔は努力する姿が描かれていた。強大化していく「悪の組織」と戦うための技量を培い、どう戦うかに精進する姿勢が随所に挿入されていた。ところが、いわゆる「平成ライダー」には、自分を鍛えて、増長する悪の威力に対抗しようとする部分があまり登場しない。これも時代の変化なのか、目立たないところでしつかりと努力を重ね、実力を身に付け、いざという時にその力を存分に発揮する、という構図は、体育会的な根性論がなりを潜めた現代では「かっこいい」ものではないのだから。

世の中の先行きが不安で、将来に夢を持ってない若者が増えていることで、利他的な快楽に身を委ね、将来的な自己を思い描いて努力する人間が減つていくという意見を述べる評論家がいる。国家的・地域的な紛争が絶えず、平和な生活が突如として「テロ」の恐怖に襲われる。社会保障が将来的には破綻するかもしれないという不安と高齢化社会の到来による労働力人口の減少や医療や介護の先行きの不安で、将来の職業や自己の夢を「安定」の中に求める者が少なくなっている。では「安定」とは何によつてもたらされるのか。その問いかけに「国家」や「社会」と答える者がいる。既にそれを担う存在であることを放棄しようとしているのかもしれない。鶴丸高校に赴任して七年が過ぎようとしている。私は鶴丸生に「君たちは仮面ライダーだ」と言い続けている。わずかに十数年かもしれないが、人並み外れた努力によつて培った能力と、それを維持し応用する術、さらには社会を俯瞰的に見ながら、何が正しくて何を為すべきかを見出す知力を備えた鶴丸生は、いわゆる自分たちが暮らし、生活の中で感じ



練習時から天気にも恵まれた今年度の体育祭。天気だけでなく、PTA、同窓会、そして何よりも近隣の住民の方々にも助けられて成功裏に閉幕できました。ここに改めて感謝を申し上げます。

初秋の風が吹き始めた九月十日土曜日、第六十八回体育祭が行われました。今年のキャッチフレーズは「煌鶴邁進(こうかくまいしん)」。足跡(とき)を刻めろ。照りつける太陽の下、熱戦が繰り広げられました。この日のために時間をかけて練習してきた応援団の演舞や、三年生のスウィートメモリ、一・二年生のマスゲームが華を添える中、トラック競技では熱戦が展開されました。午前からは着実に得点を重ねる二年生に対して、三年生も追い上げを見せます。そこには何とか食い込もうとする一年生。見応えのある戦いを制したのは、赤組二年生でした。

「仮面ライダー」との最大の違いは、同じ心を持つ仲間がたくさんいること、卒業生を初めとして、ひとり一人がたくさんの人となりがついていることである。さあ、後期が始まる。今も、同じ悩みや苦勞を背負う仲間が、あなたの隣で、そして全国で懸命に頑張っていることをイメージしてみよう。

二年優勝、三年わずかに及ばず

第六十八回 体育祭